

様々な便利機能や、わかりやすい操作性で 評価作業の効率が大幅に向上しました。



想定整形地作成支援ソフト「蔭地名人（かげちめいじん）」のご利用で土地評価業務を効率化されています。



桑田 悠子 先生

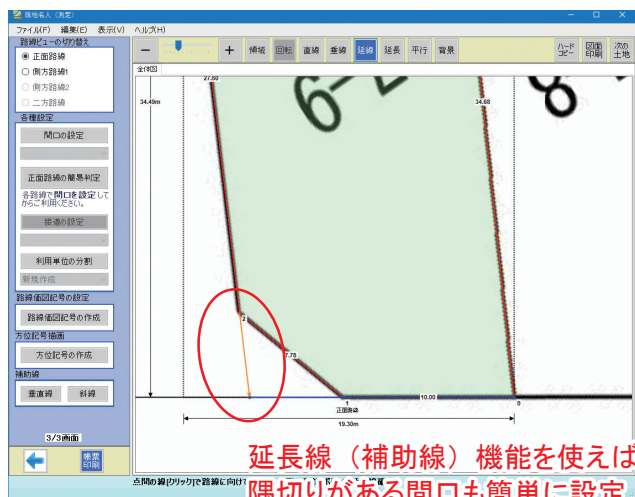
●○ 土地評価作業の効率が大幅に向上 ●○

私は前職の時代から蔭地名人を利用しており、その良さは分かっておりましたので、弊社でも導入しております。

視覚的な綺麗さ、紙を使用しなくていいためオンライン共有が容易な点、不整形補正率などを的確に算定できることは大前提として、**利用単位分割機能**にも助けられています。

土地評価において、利用単位ごとに土地を分割して評価する場面は多くあります。宅地と雑種地や、宅地と山林など別種目の土地が隣り合っているケースや、筆と利用単位が異なるケースなどです。

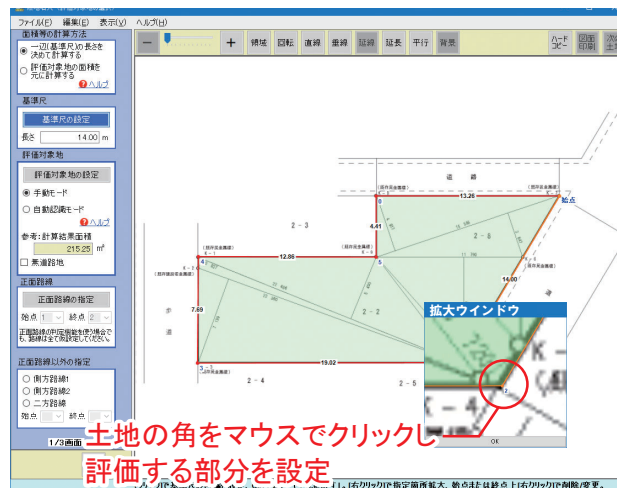
利用単位ごとに分けられる機能によって、面積算定も容易にできます。従来の手作業では煩雑な評価作業になるところ、ソフト上で評価を完結することができるため、評価作業の効率が大幅に向上しました。さらに、**延長線・垂線（補助線）**の機能も便利ですね。



延長線（補助線）機能を使えば
隅切りがある間口も簡単に設定

●○ わかりやすい操作性 ●○

加えて、蔭地名人は視覚的にわかりやすいインターフェースを備えており、作業しやすいです。クライアントへの説明においても分かりやすいと思います。



土地の角をマウスでクリックし
評価する部分を設定

これらの機能を活用することで、土地評価の正確性が向上するとともに、作業時間の短縮が実現しました。迅速かつ正確な評価が求められる場面では、蔭地名人の存在が大きな助けとなりました。

追加して頂きたい機能がある場合、それを担当の方にお伝えすると対応して下さる点も心強いです。今後も、使っていくうちに追加頂きたい機能が出たら、ご連絡させていただきます。

総じて、蔭地名人は土地評価を行う実務者にとって非常に有用なツールであり、その機能性と操作性の高さは高評価だと思います。今後もこのツールを活用して、さらに精度の高い評価を行っていきたいと考えています。